

大麦の生育量を確保するために、圃場内の停滞水をすみやかに排出しましょう。

1 排水対策 ～圃場の排水溝の点検と手直し～

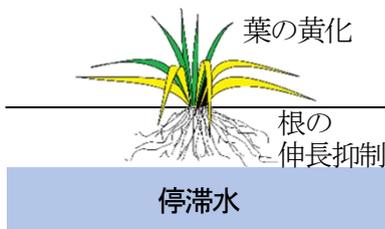
<点検のポイント>

- 水口がしっかり止まっているか？
- 連結した排水溝に水が溜まっていないか？
- 排水溝が埋まっていないか？
- 「掘り下げた排水口」から水が抜けているか？

圃場内や溝に溜まった水をスムーズに排水するために、排水溝と排水口を確実に連結しましょう。

特に排水口は深く掘り下げ、確実に排水されるよう点検しましょう。

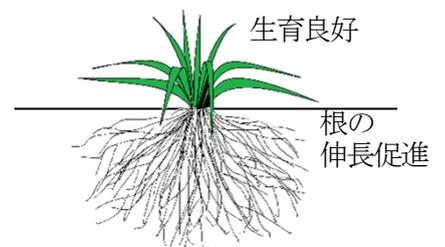
排水不良



溝の手直し



排水良好



2 追肥

エコ大麦44号（基肥）を施用している圃場では、原則追肥しないでください。

ただし、葉色が薄い場合はJAまたは農林振興センターに相談の上、2月下旬頃に窒素成分で1～2kg/10aを追肥しましょう。

春は農作業事故が発生しやすい季節です。
農場や用水路の危険箇所の把握・改善、余裕を持った作業計画など、事故を未然に防止する対策を徹底しましょう。



大麦あと圃場に、大豆や緑肥クロタリアを積極的に作付しましょう!!